

【R6年度】 自殺未遂者相談支援事業 オール大阪まとめ(大阪市・堺市・中核市・大阪府)

資料3-2

<自殺未遂者相談支援事業について>

(目的) 自殺再企図の可能性が高い自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための支援を行う

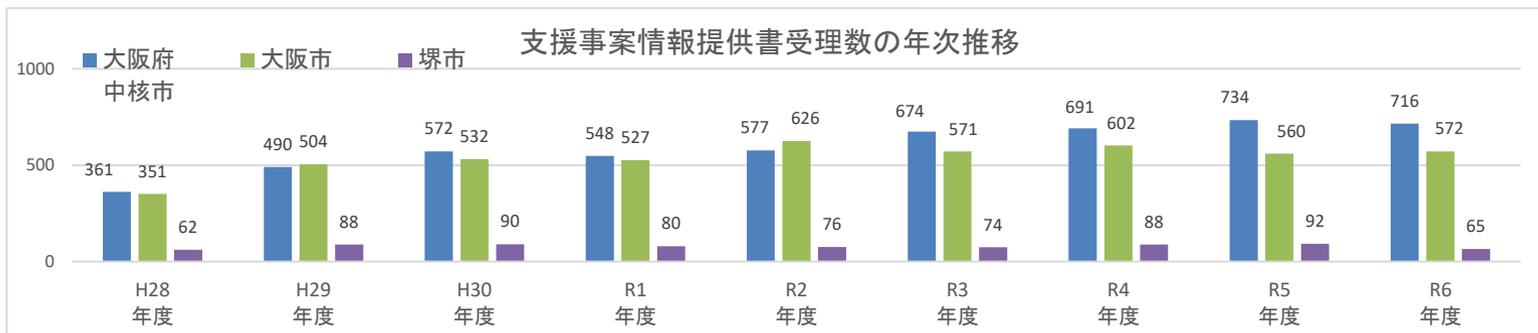
(内容) 保健所(保健センター)が、警察署から情報提供を受けた相談を希望する本人・家族に対して、関係機関と連携し相談支援を行う

◆各警察署からの「支援事案情報提供書」受理数

・「支援事案情報提供書」の受理数は増加傾向。

・R6年度は、1353件で前年より33件減少(大阪府・中核市18件減、大阪市12件増、堺市27件減)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
大阪府 中核市	361	490	572	548	577	674	691	734	716
大阪市	351	504	532	527	626	571	602	560	572
堺市	62	88	90	80	76	74	88	92	65
計	774	1082	1194	1155	1279	1319	1381	1386	1353



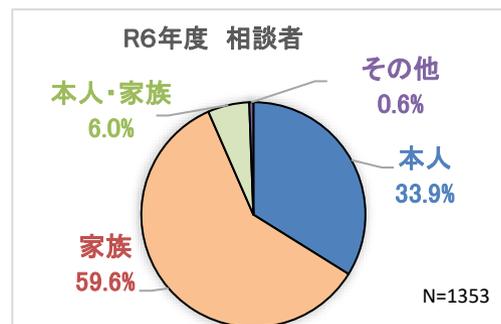
◆属性

※以下は支援事案情報提供書を受理したものの集計

- ・相談者は、家族が多い(59.6%)。本人は33.9%。
- ・自殺未遂者の性別は女性が多い(67.7%)。

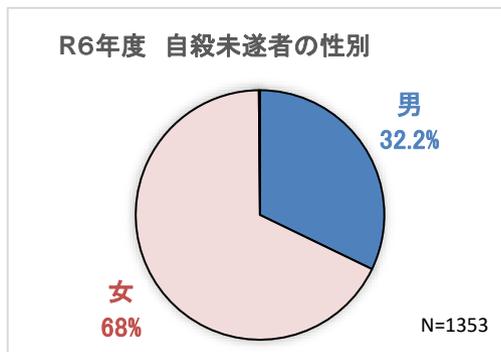
<相談者>

	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	%	参考 R5年度		参考 R4年度	
						合計	%	合計	%
本人	156	284	18	458	33.9	435	31.4	427	30.9
家族	505	267	34	806	59.6	868	62.6	877	63.5
本人・家族	51	20	10	81	6.0	79	5.7	74	5.4
その他	4	1	3	8	0.6	4	0.3	3	0.2
合計	716	572	65	1353	100	1386	100	1381	100



<自殺未遂者の性別>

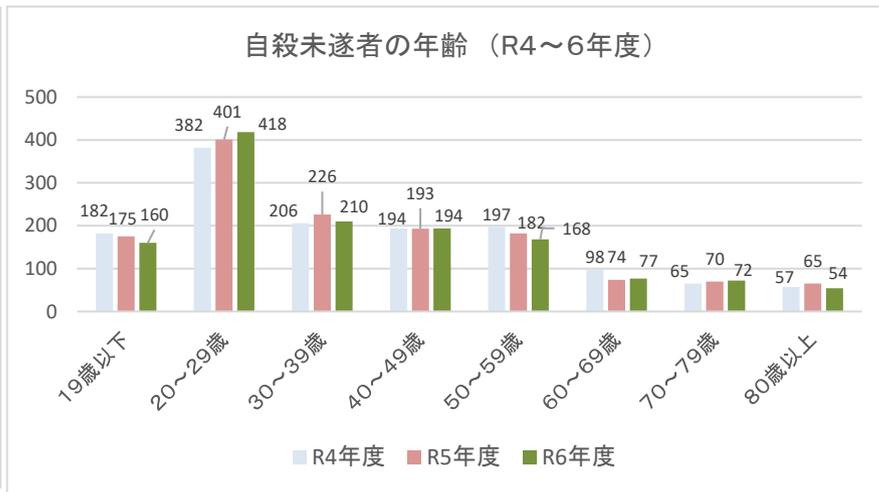
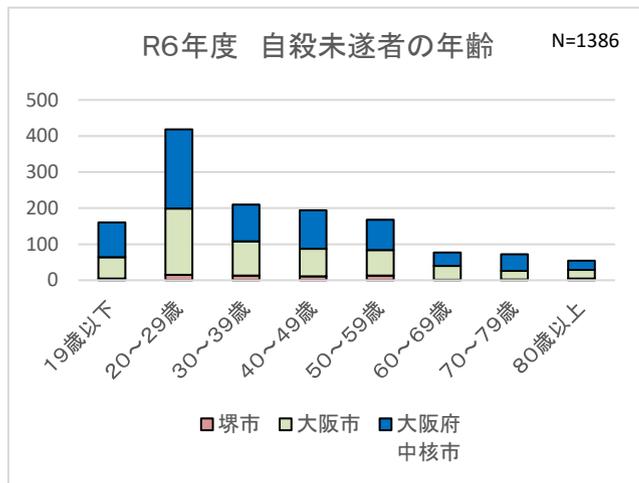
	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	%	参考 R5年度		参考 R4年度	
						合計	%	合計	%
男	232	177	26	435	32.2	451	32.5	478	34.6
女	482	395	39	916	67.7	933	67.3	901	65.2
不詳	2	0	0	2	0.1	2	0.1	2	0.1
合計	716	572	65	1353	100	1386	100	1381	100



<自殺未遂者の年齢>

	R6年度					参考	
	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	%	R5年度	R4年度
19歳以下	96	59	5	160	11.8	175	182
20～29歳	219	184	15	418	30.9	401	382
30～39歳	102	95	13	210	15.5	226	206
40～49歳	107	76	11	194	14.3	193	194
50～59歳	84	71	13	168	12.4	182	197
60～69歳	37	39	1	77	5.7	74	98
70～79歳	46	24	2	72	5.3	70	65
80歳以上	25	24	5	54	4.0	65	57
合計	716	572	65	1353	100	1386	1381

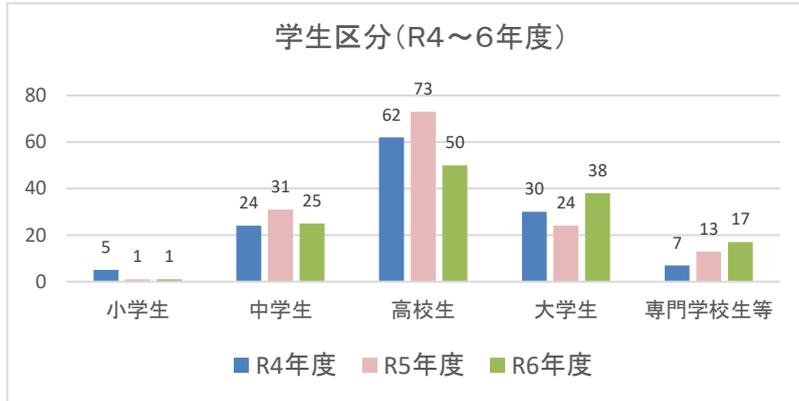
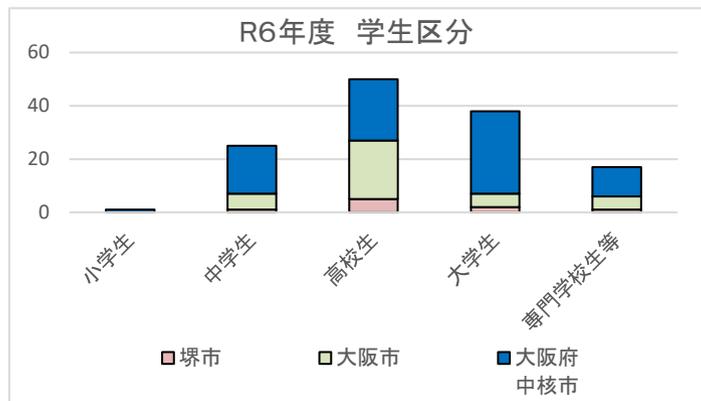
- ・自殺未遂者の年齢は、20～29歳が最も多く、次いで30～39歳、40～49歳の順となっている。
- ・20～29歳は前年度より17人増加。



<自殺未遂者の学生区分>

	R6年度				参考	
	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	R5年度	R4年度
小学生	1	0	0	1	1	5
中学生	18	6	1	25	31	24
高校生	23	22	5	50	73	62
大学生	31	5	2	38	24	30
専門学校生等	11	5	1	17	13	7
合計	84	38	9	131	142	128

- ・学生区分別では、高校生が最も多い。
- ・大学生・専門学校生等が前年度より増加。



◆アルコール・ギャンブル関連問題の有無

	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	参考 R4年度	参考 R5年度
アルコール関連問題あり	30	36	8	74	68	100
ギャンブル関連問題あり	6	11	1	18	5	6

- ・アルコール関連問題ありの人は、74人で、令和5年度に比べ26人減少。全体の5.5%となっている。
- ・ギャンブル関連問題ありの人は、18人で令和5年度に比べ12人増加。

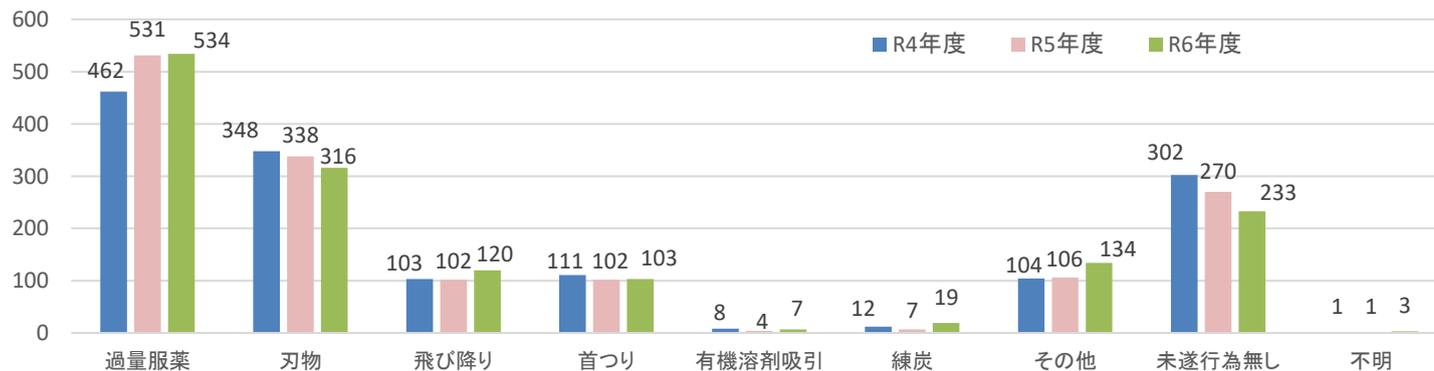
◆未遂の手段

※複数計上あり

	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	%	参考 R5年度		参考 R4年度	
						合計	%	合計	%
過量服薬	254	268	12	534	36.4	531	36.3	462	31.8
刃物	152	149	15	316	21.5	338	23.1	348	24.0
飛び降り	67	48	5	120	8.2	102	7.0	103	7.1
首つり	58	38	7	103	7.0	102	7.0	111	7.6
有機溶剤吸引	1	4	2	7	0.5	4	0.3	8	0.6
練炭	10	7	2	19	1.3	7	0.5	12	0.8
その他	65	65	4	134	9.1	106	7.3	104	7.2
未遂行為無し	142	69	22	233	15.9	270	18.5	302	20.8
不明	3	0	0	3	0.2	1	0.1	1	0.1
合計	752	648	69	1469	100	1462	100	1451	100

- ・過量服薬が最も多く、次いで刃物となっている。
- ・過量服薬が増加傾向である。

未遂の手段(R4～6年度)



◆相談内容(自殺未遂者の原因・動機)

※複数計上あり

	大阪府 中核市	大阪市	堺市	合計	%	参考 R5年度		参考 R4年度	
						合計	%	合計	%
家庭問題	160	97	15	272	16.9	336	19.5	322	19.6
健康問題	278	186	44	508	31.6	547	31.7	561	34.1
経済・生活問題	67	61	8	136	8.5	156	9.0	136	8.3
勤務問題	51	67	13	131	8.1	141	8.2	142	8.6
男女問題	95	73	11	179	11.1	187	10.8	146	8.9
学校問題	36	16	2	54	3.4	73	4.2	63	3.8
その他	79	82	9	170	10.6	139	8.0	139	8.5
不詳	90	68	0	158	9.8	148	8.6	134	8.2
合計	856	650	102	1608	100	1727	100	1643	100

・健康問題が多く、次いで家庭問題となっている。

相談内容(自殺未遂の原因・動機) (R4～6年度)

